



四小だより

いちょう

平成27年 7月24日号

山形市立第四小学校
校長 坂本 澄子

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

<児童数 182名>

チャレンジの夏休みに！

早いもので、今日で1学期が終わりました。この1学期、子どもたちは「よりよい自分への更新」をめざして意欲的に取り組んできました。その意欲が成長につながったと実感しています。

今日の終業式では、4月の始業式で話した二つの目標「やさしい挨拶を響かせる」と「一人ひとりがなりたい自分をめざして努力する」を振り返りながら、各学年の成長の姿を話し、子どもとともに確認したところです。

さて、明日から31日という長い夏休みに入ります。夏休みは子どもたちを家庭にお返りする期間です。長期休業でしか経験できないこと、例えば、家族と一緒にものづくりをするとか、本をたくさん読むなど、ふだんできない体験活動も考えてみてはいかがでしょうか。夏休みは子どもにとって大きく成長するチャンスです。ぜひ、いろんなことにチャレンジさせてほしいです。そして、身体も心もたくましく育てていただきますようよろしくお願いいたします。子どもたちにとって、事故やけがのない充実した夏休みになるように願っています。



キャプテンルームには写真があるね！



まな板はこうやって洗うんだよ！



「これはどう考えたの？」

クルーズ班でフルーツバスケット



マッチを擦ったら、すぐ新聞紙に火をつけるんだよ！（5年自然体験学習）



パワー全開！自分を越えた きぼう学年！

昨日、山形市水泳記録会が開催されました。21日の激励会では、5年生が中心となり、全校生で盛大にきぼう学年にエールを送りました。

大会では、市内の6年生849人が一堂に会する中、きぼう学年は32人全員が出場し、ほとんどが自己ベストを更新することができました。また、男子200Mフリーリレー1位、男子200Mメドレーリレー2位という快挙を成し遂げました。これまで、5年生やクラスの仲間とともに目標に向かって取り組んできた力を全て出し切り、今までの自分を越えたきぼう学年の子どもたちは、たくましく輝いて見えました。32人全員が選手として出場できたことは、今後、お互いのつながりを深めていくうえでいい経験になったと思います。

これまで指導してくださった松田先生や熊谷先生、そして当日雨の中子どもを励まし応援してくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

8月25日、真っ黒に日焼けした子どもたちに会うのを楽しみにしています。

<第1学期終業式 校長あいさつ>より

なりたい自分に向かって 更新し続ける子どもたち！

この一学期を、始業式で校長先生が皆さんにお話した二つのことから振り返ってみました。

一つめは、相手も自分も嬉しくなるような「やさしい挨拶」を響かせるということです。「挨拶をしなければならぬ」という気持ちで挨拶するのではなく、自然にできるようになるといいです。やさしい自然な挨拶が四小に広がるようになるといいなと思っています。

二つめは、一人ひとりが「なりたい自分」をめざして努力するということです。皆さんは、この一学期、勉強や運動、学年やクルーズ班での体験活動などで、目標をもち、その実現に向けて頑張ってきました。今日は、各学年の具体的な成長の姿をお話します。

あおぞら学年にとって、自分で登下校することや学校での勉強、運動会、クルーズ班活動などのくらしは、すべて初めてのことでした。その一つ一つに挑戦していった四小のくらしが少しずつわかってきました。また、先生や友だちの話をしっかり聞く力や自分の思ったことをみんなの前で話す力もついてきました。クルーズ班清掃も、お兄さんやお姉さんからほうきの使い方やいちょう拭きなどを教えてもらい上手になってきました。できるようになったことが増えましたね。9月のいちょう兄弟体験学習は初めてですが、自分ができることを見つけてやりましょう。

たんぽぽ学年は、新しい仲間や先生とどんな学級にしたいのかを話し合ってきました。時間を守ることを意識したり、自分の意見がしっかり持てるように考えたり、学級の課題を自分たちで解決しようと向き合ってきました。みんなで考えたお笑い係やイベント係、かざり係が協力して計画した「夏祭り」は、学級のみんなを笑顔にしました。クラスでの生活が楽しくなり、みんなの仲がより深くなるきっかけになったことでしょう。1年生にやさしく教えたり、声がけしたりする姿も見られ、たのしい2年生になってきました。

つばさ学年は、教室が2階になり、新しい仲間や先生とよりよい学級をつくろうと努力しました。初めての理科の学習では、アゲハやモンシロチョウを卵から大事に育て、チョウが羽化する瞬間を実際に観察したり、うまく羽を広げることができずに息絶えてしまうチョウがいることを知ったりして、命の尊さを学びました。また、目を外に広く向けていろんな事に興味を持ち、どんなことにもチャレンジしようとする姿に成長を感じています。その意欲をずっと持ち続けてほしいです。

人への気配りができ、友だちの思いに寄り添ってくらしをつくっているきらめき学年は、上学年としてとても頼れる存在です。いちょう運動会での係の仕事への取り組みは、責任をもって最後までやり通す姿が見られました。また、自然体験学習「1年生にカレーをごちそうする会」では、思った通りに進まないことや困ったことなども出てきましたが、知恵を出し合っておいしいカレーをごちそうすることができました。また、1年生に教えてあげながら一緒に後片付けをすることができたと聞いています。学校でのくらしを体験学習でも活かすことができ、たくましさを感じています。

ハート学年、高学年としての自覚をもちながらお互いのよさを認め合い、よりよい学級づくりをめざしてきました。四小のゆるキャラいちょうリンに込めた思いをもう一度みんなで確認し、これからハート学年としてどうしていきたいのかを話し合いました。今後のハート学年の発信を見守りたいと思います。また、自然体験学習では、言葉や行動で仲間と積極的に関わることを目標に、計画したすべての活動を実施することができたのは、仲間への理解が深まるいい機会になったと思います。常に6年生を支え、下学年の手本となって動くことができるのは、既に学校のリーダーとしての動きだと嬉しく思っています。

きぼう学年は、旗揚げの仕事や委員会、クルーズ班のリーダーとして学校のくらしを牽引しながら、32人がヨコの温かいつながりを深めようと努力してきました。日々自分たちを振り返り、よりよいものを求めて模索している姿が印象的です。そんな中で創り上げたいちょう運動会は、本気の取り組みが今までのきぼうを超えさせたと感じています。昨日の山形市水泳記録会でも32人全員が出場し、一人一人が本気で挑戦する姿は、今までの自分を超える見事な泳ぎでした。この大会への出場は、あななたちのヨコのつながりをさらに強いものにしたいです。これからも、きぼう学年が様々な場面で相手に気を配り、四小の温かいつながりをつくってってくれることを期待しています。

明日から、31日間の夏休みに入ります。この長い休みにしかできないこと、たとえば、読みたかった本をじっくり読むとか、家族と一緒にものをつくるとか、知りたいことを実際にそこに出かけて調べるなど、チャレンジする夏休みにしてほしいです。8月25日、真っ黒に日焼けして、一回りたくましくなった皆さんに会えるのを楽しみにしています。